



ENEOS Power株式会社



横浜赤レンガ倉庫
YOKOHAMA RED BRICK WAREHOUSE

2024年10月24日

各位

ENEOS Power株式会社
株式会社横浜赤レンガ

横浜市内の家庭用卒FIT余剰電力を活用した オフサイトフィジカルPPAの契約締結について

ENEOS Power株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 香月 有佐、以下「ENEOS Power」）と株式会社横浜赤レンガ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役岩崎 求起、以下「横浜赤レンガ」）は、本日10月24日に、横浜市内の家庭用卒FIT余剰電力を活用したオフサイトフィジカルPPA（Power Purchase Agreement）※¹（以下、「本契約」）を締結しましたので、お知らせいたします。本契約は、ENEOS Powerが横浜市と締結した連携協定に基づく、再生可能エネルギーによる地産地消の推進、およびENEOS Powerが調達する再エネ由来の電力の横浜市内での利用拡大に向けた取り組みの一環となります。

本契約は、ENEOS PowerがENEOS太陽光買取サービス※²を通じて買取する横浜市内の卒FIT電力を、2024年11月から横浜赤レンガ倉庫1号館および2号館へ電力供給するものです。具体的には、横浜赤レンガの消費電力量と卒FIT電力量を30分単位で一致させ、リアルタイムで再生可能エネルギーを使用することで、横浜市の卒FIT電源を活用した地産地消の取り組みを実現します。既に横浜赤レンガ倉庫1号館および2号館では一部再エネ電力を導入していますが、本取り組みにより、使用する電力の約2割を横浜市内の家庭で発電される太陽光発電で賄うことができ、年間約440トン※³のCO₂排出量削減が見込まれます。

【イメージ図】

市内卒FIT太陽光発電





ENEOS Power株式会社



横浜赤レンガ倉庫
YOKOHAMA RED BRICK WAREHOUSE

ENEOS Powerは、30分同時同量の電気と環境価値をセットで提供するオフサイトフィジカルコーポレートPPAを展開しており、お客さまのニーズに応じた電源（太陽光、風力等）や柔軟な契約期間を選択いただくことが可能です。新電力トップクラスの供給力と再生可能エネルギー開発を担うグループ会社が開発・保有する追加性のある電気等を活用し、お客さまとともに脱炭素・カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 オフサイトフィジカルPPA（Power Purchase Agreement）とは、電力需要地ではない場所にある再エネ電源で発電された再エネ電力を、一般の電力システムを介して当該電力の購入者へ供給する契約方式です。
- ※2 ENEOS Powerは卒FIT余剰電力を地域の電力会社よりおトクに買取しております。詳細は「ENEOS太陽光買取サービス」で検索ください。
- ※3 年間削減量は、令和5年度の需要実績をもとに、ENEOS Powerの令和4年度実績のメニュー別係数（残差）（0.000459 t-CO2/kWh）で算出しております。

横浜赤レンガ倉庫 とは

横浜赤レンガ倉庫は、創建100年を超える歴史的建造物を活用した文化・商業施設。当時の倉庫の面影を残した館内には様々なショップやレストラン・カフェが軒を連ね、二棟間の広場では四季折々のイベントを開催しています。

2022年12月のリニューアルをきっかけに、サステナビリティへの取り組みを強化。2023年11月には、横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」における最上位『Supreme』を取得するなど、地球環境と横浜赤レンガ倉庫に訪れるお客様が重要なステークホルダーであると認識し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指します。



WARAU SUSTAINABLE

<サステナビリティコンセプト>

サステナビリティの4つの重点項目（マテリアリティ）

- ① 地域を活性化すると、街が笑う
- ② 集う人が協力し合うと、地球が笑う
- ③ テクノロジーを活用すると、未来が笑う
- ④ 働き方を変えると、人が笑う

以 上